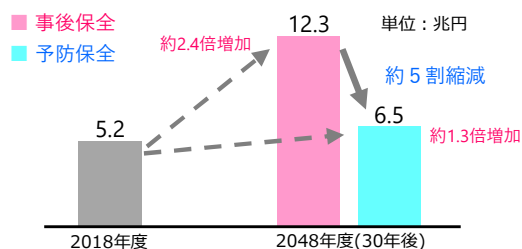


# インフラ老朽化対策(戦略的な維持管理・更新の推進)

- 「国民の安全・安心の確保」「持続可能な地域社会の形成」「経済成長の実現」の役割を担うインフラの機能を、将来にわたって適切に発揮させていくため、「**持続可能なインフラメンテナンスの実現**」を目指す。
- 計画的・集中的な修繕等の実施による**予防保全への本格転換**の加速化や、新技術の普及促進等による**メンテナンスの生産性向上**の加速化、集約・再編等による**インフラストックの適正化**等の取組を推進していく。

## I. 計画的・集中的な修繕等の確実な実施による「予防保全」への本格転換

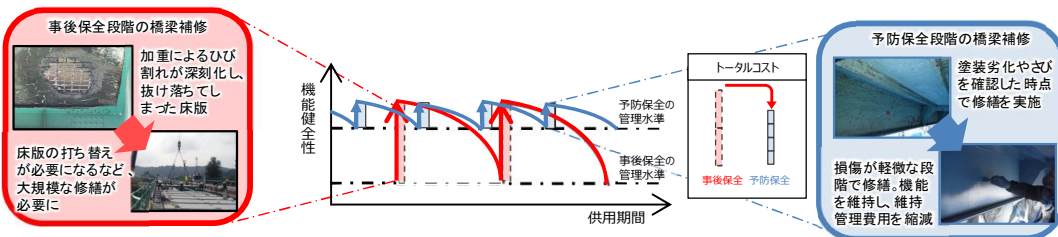
### ■ 将来の維持管理・更新費の推計結果



	30年間の合計 (2019~2048年度)
事後保全	約280兆円
予防保全	約190兆円

約3割削減

### ■ 事後保全と予防保全のメンテナンスサイクル



### ■ 早期に措置が必要な施設は多数存在



・予防保全の管理基準を下回る状態への集中的な修繕等を推進

・予防保全型インフラメンテナンスサイクルへ早期に移行し、将来の維持管理・更新費の抑制を図る

## II. 新技術・官民連携手法の普及促進等によるインフラメンテナンスの生産性向上の加速化

### ■ 新技術の導入事例



### ■ インフラメンテナンス国民会議を通じた新技術導入のマッチング支援



【インフラメンテナンス国民会議】  
産学官民が参画する国民会議の会員数は2,000者を突破。これまでに約130回の各種イベントを開催し、9技術・延べ76件の社会実装を創出。

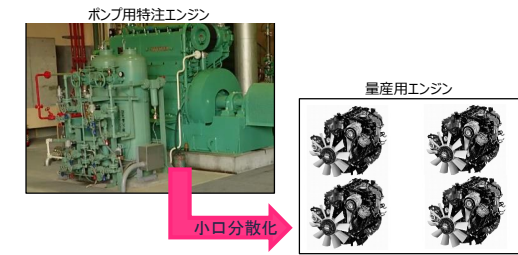
・メンテナンスに携わる人的資源が不足する地方公共団体等が、効率的にインフラメンテナンスを実施するため、新技術等の導入促進を支援

## III. 集約・再編やパラダイムシフト型更新等のインフラストックの適正化の推進

### ■ 集約・再編の事例



### ■ パラダイムシフト型更新の検討



・地域社会の変化や将来のまちづくり計画等を見据え、必要性の減少や地域のニーズに応じたインフラの集約・再編の取組を推進